

令和6年9月

令和7～10年度使用
加賀市立中学校教科用図書採択について

加賀市教育委員会

- 1 採択する教科用図書
別紙（資料1）のとおり

- 2 採択理由

令和7～10年度に加賀市立中学校で使用する教科用図書の採択にあたっては、加賀市教科書採択の基本方針及び教科用図書選定委員会の答申に基づき、最も適切であると思われるものを、加賀市教育委員会の権限と責任において慎重に審議を行い、公正かつ適切に採択を行ったものである。

採択の主な理由については、別紙（資料2）のとおりである。

令和7～10年度使用加賀市立中学校教科用図書

採択結果

| | | |
|----------|----|--------------|
| 国語 | | 光村図書出版株式会社 |
| 書写 | | 光村図書出版株式会社 |
| 地理 | | 株式会社 帝国書院 |
| 歴史 | | 株式会社 育鵬社 |
| 公民 | | 株式会社 育鵬社 |
| 地図 | | 株式会社 帝国書院 |
| 数学 | | 東京書籍株式会社 |
| 理科 | | 株式会社振興出版社啓林館 |
| 音楽 | 一般 | 株式会社 教育芸術社 |
| | 器楽 | 株式会社 教育芸術社 |
| 美術 | | 日本文教出版株式会社 |
| 保健体育 | | 株式会社 大修館書店 |
| 技術家庭 | 技術 | 東京書籍株式会社 |
| | 家庭 | 東京書籍株式会社 |
| 英語 | | 東京書籍株式会社 |
| 特別の教科 道徳 | | 日本教科書株式会社 |

| 種 目 | 採択発行者 | 採択の主な理由 |
|-----|-------|---|
| 国語 | 光村図書 | <ul style="list-style-type: none"> ・「語彙ブック」では国語で使う学習用語がイラストとともにまとめられており、生徒が用語の意味を理解しやすくなっている。 ・「学びへの扉」では思考のポイントと振り返りの内容が観点ごとに示されており、生徒がどんな風に学び、どんな力が身についたかを自覚しやすくなっている。 ・「学びのカギ」では、思考のポイントが説明とともに図解で示されたり、学習で用いる言葉の解説が掲載されたりしており、考えを深めることができる配慮がある。 ・各学年の巻末に1年間の学びを振り返るという単元が設定しており、国語を通して何を学んだか、どんな力がついたか押さえることができる。 |
| 書写 | 光村図書 | <ul style="list-style-type: none"> ・「学びのカギ」には学習のポイントが簡潔に整理されており、それを意識しながら練習できるように配慮されている。 ・「中学書写スタートブック」の動画は右利き用と左利き用が設定され、どちらにも対応できるように配慮されている。 ・二次元コードを読み込むことで、中学校で初めて学習する「行書」の特徴や書き初めの解説動画を個々の進度に合わせて何度も見返すことができるようになっている。 |
| 地理 | 帝国書院 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しと振り返りがしやすいつくりになっている。章、節、各本文それぞれの冒頭では、学習する内容を問いで示し、生徒自ら学習の見通しをもてるようにしている。 ・「技能をみがく」では、地図や統計資料の見方が示され、資料活用の基礎的・基本的な技能が身につくよう工夫されている。 ・「アクティブ地理」では、学習内容を深めるための具体的な問いが設定され、対話を通して学びを深めるつくりになっている。 ・「未来に向けて」では、持続可能な社会の形成の事例を紹介し、持続可能な社会の実現に向けた意識が高まるように工夫されている。 |
| 歴史 | 育鵬社 | <ul style="list-style-type: none"> ・各章、節、本文ページには、単元を貫く問いとして〔章の課題〕〔節の課題〕〔学習課題〕を設け、生徒自身が日々の学習内容に見通しを持てるように工夫されている。 ・章ごとの「虫の目で見る」に掲載されている資料を比較することで、これから学ぶ時代を大観することができる。 ・グループで調べたり話し合ったりして活動を行う〔TRY〕コーナーを設け、主体的・対話的で深い学びを促すように工夫されている。 ・各章で学習する時代の文化の特徴について、豊富な写真資料で紹介したり、コラムで詳しく取り上げたりしている。 |

| 種 目 | 採択発行者 | 採択の主な理由 |
|-----|-------|---|
| 公民 | 育鵬社 | <ul style="list-style-type: none"> ・各章ごとに「○○の入口」と「○○のこれから」を設け、学習内容に関する現代社会の諸問題について協議し、課題解決に取り組む活動を通して、「他人事」を「自分事」として捉え、教材への関心を高め、主体的に追究できるようにしている。 ・巻頭と巻末に現代社会の諸問題に関する資料が掲載され、持続可能な社会の実現に関心が高まるように配慮されている。 ・巻頭に「なぜ公民を学ぶのか」を掲載して、自分と社会との関わりを認識させ、公民を学習する意欲を高める工夫がされている。 |
| 地図 | 帝国書院 | <ul style="list-style-type: none"> ・世界各州で鳥瞰図を掲載し、各州の地域的特色を大観でき、地形や自然環境・文化、産業などの特色を視覚的に読み取ることができるように工夫されている。 ・QRコンテンツで地図活用のための基礎的なアニメーションやクイズ、発展的なウェブマップなど様々なコンテンツを活用できることで、自主的発展的な学習ができるように工夫されている。 ・持続可能な社会の実現に向けて、SDGsと関連があると考えられるページや主題図には、専用のアイコンを設けて考察できるように工夫されている。 |
| 数学 | 東京書籍 | <ul style="list-style-type: none"> ・フラッシュカードや「まちがい例」を活用して基礎的な知識と技能を定着させ、「学びのベース」や「数学の目でふりかえろう」で学年を超えた知識のつながりを意識させたつくりになっている。 ・「虫眼鏡マーク」や「対話シート」を通じて思考力、判断力、表現力を育成し、課題解決を促す深い学びにつながるように工夫されている。 ・SDGsや他教科との関連を意識した問題設定や二次元コードを活用した豊富なコンテンツで、多様な学びをサポートしている。 ・観点ごとにチェックボックスの色と形を変え、身につけた資質・能力がわかるように工夫されている。 |
| 理科 | 啓林館 | <ul style="list-style-type: none"> ・探究の過程に沿って基礎知識や技能が整理され、重要語句や公式が明確に示されている。 ・探Q実験や探Qシート、科学コラム（深めるラボ）を活用することで、生徒が問題解決や興味に応じた学びを深める工夫がされている。 ・各章のはじめにあるフラッシュカードで、関連する小学校や前学年の既習事項が確認できたり、章とびら写真に関連した内容の動画から疑問を見つけたりとデジタルコンテンツが充実している。 ・各学年のSDGsに関連するコーナーにマークをつけ、理科と社会とのつながりや科学技術の有用性を感じられるように工夫されている。 |

| 種 目 | 採択発行者 | 採択の主な理由 |
|------|--------|---|
| 音楽一般 | 教育芸術社 | <ul style="list-style-type: none"> ・「My Voice!」では、姿勢や呼吸、変声期の解説を通じて、歌唱表現の基礎知識と技能を習得できるよう工夫されており、各頁にQRコードが設置されて生徒が主体的に学べるようになっている。 ・音楽科の目標や要素が具体的に解説され、教材との関連が分かりやすく提示されている。 ・「日本の民謡」では、山中節をはじめとする各地の民謡や芸能が掲載され、日本の音楽文化の尊重が促されている。 ・「生活や社会の中の音や音楽」では、音楽とSDGsとの関連が紹介されている。 |
| 音楽器楽 | 教育芸術社 | <ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「楽器でMelody」では、馴染みのある音楽を和楽器で演奏できる楽譜や和楽器に取り組む中学生の紹介を通じて、音楽文化への理解が深められるように工夫されている。 ・QRコードを利用して伴奏音源や演奏方法の動画が視聴でき、生徒が自発的に活動できる環境が整っている。 ・「学びのコンパス」では創作表現の手がかりが示され、アンサンブルでは幅広い楽曲が紹介されている。 ・リコーダー学習ではアルトとソプラノの両方の楽譜が併記されている。 |
| 美術 | 日本文教出版 | <ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとの学びの目標は、わかりやすく的確で、全ての題材に、造形的な見方・考え方に着目させる問いかけが載っている。 ・題材ごとに示した「鑑賞の入り口」と「造形的な視点」をもとに掲載作品などの「鑑賞」をし、生徒自らの「表現」、お互いの作品の「鑑賞」を行うことで、学びの定着を図る工夫がされている。 ・3分冊構成により、発達段階に応じた学習のねらいや内容が明確に示され、系統的・発展的な学習が可能となっており、タイトルにもその意図が反映されている。 |
| 保健体育 | 大修館 | <ul style="list-style-type: none"> ・各項目をシンプルな3ステップ構成にすることやとびら、特集資料を充実させることで、生徒が主体的に学習を進められるよう配慮されている。 ・「がん」に関する深い学習を促進するために、2単位時間を使って「がんとその予防」や「生活習慣病・ガンの早期発見とその回復」に重点を置いており、現代的な健康課題への高い意識が示されている。 ・各章の末には、学んだ内容を確認する問題や記述式の「思考・判断・表現」の問題が設けられており、学びを深める工夫がされている。 ・実生活につながる内容がコラムに書かれていて、自分の生活と結び付けて考えることができる。 |

| 種 目 | 採択発行者 | 採択の主な理由 |
|-------------|-------|---|
| 技術 | 東京書籍 | <ul style="list-style-type: none"> ・各章の「TECH Lab」や「やってみよう」では、問題解決に必要な手順や道具の使い方を学び、基礎的な知識や技能を習得できるよう工夫されている。 ・生徒が「解決したい!」と思える問題を見つけられるよう、防災、サステナブル、Well-beingなど、多彩なテーマを取り上げ、身の回りや社会の困りごとを解決する問題解決の考え方を学べる工夫がされている。 ・全ページに配置された二次元コードを活用してデジタルコンテンツにアクセスでき、動画やデジタル思考ツール、シミュレーションなど、生徒自ら必要に応じて使用することができるよう工夫されている。 |
| 家庭 | 東京書籍 | <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習例や布製作の実習例は、意欲を引き出す魅力的な写真とともに、分かりやすい調理や製作の手順を示していて、家庭での実践も促す配慮がされている。 ・各編の扉ページでは、ダイナミックな写真で生徒の興味を引き、写真の中に登場するキャラクターのせりふは問題発見・課題設定のヒントにつながる工夫がされている。また、編を通しての課題設定の記入欄を設け、自分の知りたいことやできるようになりたいことを記入することで、生活の課題と実践へとつなげる工夫がされている。 ・実習では、QR コンテンツの基礎技能動画が活用できる。 ・各編末に「持続可能な社会」について考える章を設けるなどSDGsに関連する内容の充実が図られている。 |
| 英語 | 東京書籍 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校で学んだ表現を使って「聞く」「話す」活動から授業に入り工夫がされている。 ・各 Unit では、3 回視点を変えて読解する「ラウンドリーディング」で、確かな読解力を育成することができる。また、単元のゴールに向けたスモールステップの言語活動が充実している。 ・語順カードや文法のまとめページを使って視覚的に語順を学び、助動詞の位置変更が色分けで見やすくなっている。 ・各 Unit には二次元コードがあり、音声や文法解説動画、クイズにアクセスできるようになっている。また、絵やグラフが多く使われて内容理解を助ける配慮がある。 |
| 特別な教科 道徳 | 日本教科書 | <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に「ウェルビーイングカード」が用意されており、このカードを使って考えを深めたり、判断力や表現力を育てることができるように工夫されている。 ・教材の最後のページには「メモ」欄が設けられてあり、自分の考えや友達の意見から気づいたこと書き込むことができるように配慮されている。 ・教材は内容項目順に配置されており、各項目の扉ページには4コマ漫画で道徳的な生活の場面が紹介され、問題意識を持ちやすくする工夫がされている。 ・石川県に関連のある人物や題材を扱った教材が複数掲載されている。 |